

TTCゆった〜り山行計画表

[2015年6月17日 MY 立案]

1. 山行計画名	旧碓氷峠(1188m)から霧積温泉とアプト式鉄道遺構・富岡製糸所 [群馬県/長野県]
2. 目的	錦秋染まる旧碓氷峠から秘湯を巡り、アプト式鉄道遺構を辿って、世界遺産を訪ねる。
3. 期日	平成27年10月25日(日)~26日(月) 1泊2日 小雨決行
4. 募集対象者	レベル ★★ 交通:ハイエース利用 募集人員; 12名 (ハイエース乗車定員まで)
5. パーティストッフ	CL: SL: 会計: 救護:
6. 歩行/行動時間	◆10/25 歩行3:40(ガイドブック3:00)/行動4:25 ◆10/26 歩行1:40/行動3:50
7. 集合場所・時間	鳶尾6:00/本厚木ヨーカドー前 6:15 (pick-up 箇所: 荻野新宿・及川中原・林)
8. 解散場所・時間	本厚木ヨーカドー前 20:10頃
9. 費用	約23,500円 (ハイエース利用10名参加の場合、交通費+宿泊代+富岡製糸所見学科) 【内訳】ハイエースレンタル料金(¥16,848x2) ¥33,696、燃料代(¥130x(往路350+帰路300+待機50)/5) ¥18,200、ドライブ謝礼(18,000x2+宿泊2,000) ¥38,000、高速料金(往路:厚木-碓氷軽井沢6,080、帰路:富岡-厚木:5,100) ¥11,180、ドライブ宿泊代 ¥10,734、富岡駐車料金 ¥2000/交通費計 ¥113,810/10名参加の場合: @11,500、霧積温泉宿泊代(税込) @10,734、富岡製糸所(見学科金 @1,000+ガイド料金 @200) @1,200、一人当たり費用: 約 ¥23,500
10. 行程	<p>◆10/25 (旧碓氷峠から霧積温泉へ: 累積標高差: ↑350m/↓500m、歩行距離: 約8km)</p> <p>圏央道/関越/上信越道 (散策&昼食・名物力餅) 0:40</p> <p>鳶尾=本厚木ヨーカドー前==厚木IC==碓氷軽井沢IC==旧軽井沢==旧碓氷峠(熊野神社/展望台)——</p> <p>6:00 6:15 6:20 8:45 9:20 9:40 / 11:30</p> <p>0:40 1:00 1:20 送迎車</p> <p>一の字山——霧積温泉分岐(1345m)——最高地点(1425m)——霧積温泉P(942m)==金湯館(泊)</p> <p>12:10/12:25 13:05/13:25 14:25/14:35 15:55/16:10 16:25</p> <p>◆10/26(アプト式鉄道遺構トレッキング): 歩行1:40/行動3:50 &富岡製糸所見学: 約2時間</p> <p>送迎車 旧R18 0:20(橋見学) 0:20 0:15(昼食) 0:15 0:20</p> <p>金湯館==霧積温泉P==旧熊ノ平駅——めがね橋——碓氷湖——坂本宿——旧丸山変電所——碓氷峠関所跡</p> <p>8:00 8:10/8:20 9:00/9:20 9:40/10:10 10:30/10:45 11:00/12:00 12:15/12:25 12:45/13:00</p> <p>0:10 R18/県R47(見学) 上信越/関越/圏央道</p> <p>——横川鉄道文化むら==富岡製糸所==富岡IC==厚木IC==ヨーカドー前==鳶尾</p> <p>13:10/13:30 14:15/16:45 17:00 19:00 19:10 19:30</p>
(注) 天候・参加者の体調によっては、10/25の行程を旧碓氷峠付近のハイキングに変更する場合あり。また、天候等によっては、10/25と10/26の日程を入れ替える場合あり。	
12. 1/25000 地形図	軽井沢、(浅間山) 安中市産業部商工観光課 TEL027-382-1111
13. 問い合わせ先	霧積温泉金湯館 TEL027-395-3851/ http://www32.ocn.ne.jp/~kirizumikintokan/
14. 共同装備	医薬品一式、トランシーバ、カメラ 富岡市世界遺産部観光おもてなし課 0274-62-5439
15. 個人装備	宿泊山行標準装備、防寒具、昼食1、行動食、飲料水、携帯電話、温泉セット
16. 募集締切日	H27年7月例会(7/11【土】)
17. 提案・説明	H27年6月例会(6/20【土】) 電子版配布(6/)
18. 特記事項	旧中山道の難所「碓氷峠」から古の峠道を進んで、秘湯の一軒宿霧積温泉『金湯館』に泊まります(カルシウム硫酸塩泉の源泉かけ流し)。この温泉宿は伊藤博文らがここで明治憲法草案を作成した。勝海舟や与謝野晶子等の多くの文人に愛された。森村誠一の大ベストセラー小説「人間の証明」の書きはじめの「母さん僕のあの帽子どうしたでせうね。ええ、夏碓氷から霧積へ行く道で溪谷へ落したあの麦わら帽子ですよ…」(西条八十作詩「帽子」の第一節を引用)で1971年発刊と同時に、爆発的に売れた小説(2010年現在770万部発行)によって有名になった。2日目は紅葉真っ盛りの碓氷峠アプト式鉄道遺構「遊歩道アプトの道」(約6.5km/約3.5時間)を進みます。レールが取り払われた旧線路道を10のトンネルを潜りながら造りのアチ橋「めがね橋」(明治25年完成の国指定重要文化財)の上を歩き、旧中山道の宿場町「坂本宿」や碓氷関所跡等の名所旧跡を訪ね歩きます。

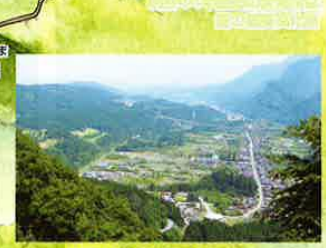


らめがね橋上

碓氷峠探訪



めがね橋 国の重要文化財
(左側に6号・碓氷第3橋梁・右側に5号トンネル)



峠探訪

(時間・距離は目安です)

アプトの道へは、
て急のため害虫除けをし からお出かけください。

至妙義神社